

東京都議会議員

尾崎 大介



●尾崎大介プロフィール● 昭和49年生まれ。日本大学農獣医学部卒。衆議院公設第一秘書を経て、平成17年に北多摩第三選挙区（調布市・狛江市）より都議選に初当選。現在3期目。財政委員会副委員長、都議会民進党総務会副会長、都市整備委員会委員長、環境・建設委員会理事、警察・消防委員会副委員長、都議会民進党副会長・幹事長などを歴任。現在、都議会民進党幹事長。

都民と共に進む 《都議会民進党》スタート!

今後も、自由・共生・未来への責任を理念とし、未来を生きる次世代への責任を果たす社会を実現するために、引き続き、都政改革に邁進して参ります。

平成28年度予算成立!

舛添知事に予算要望を提出!

一般会計予算は7兆110億円、前年度に比べて0.8%増加しました。

そのうち都債の償還費などを除いた一般歳出は、5兆933億円、4.8%の増加です。

好調な税収を背景とした予算編成が行われる中、都議会民進党は、都民が直面している厳しい現実に対応した予算を求めてきました。

28年度予算には、「非正規雇用対策」54億円、「雇用対策・就業支援」104億円、「子どもの貧困対策」680億円、「不登校・中途退学対策」



幹事長として、舛添知事に直接予算要望書を提出する尾崎議員▲

7億円、「児童相談所の体制強化など」78億円のほか、都議会民進党が求めてきた事項に予算が措置されました。

第1回 都議会定例会で舛添知事に対して代表質問を行いました!

○尾崎大介都議 都民一人一人があしたへの希望を持って生活し、実現に向けた努力を応援する東京にするために、予算においてもしっかりと対応して、負の連鎖を断ち切るべきと考えます。

そのような観点から、平成28年度予算案の編成に当たってどのような理念を持って臨んだのか、知事の見解をお伺いいたします。

○舛添要一都知事 将来の成長に対するマイナス要因というのを今まさにここで対処して、みずか

らが希望を実現して、誰もが活躍できる、そういう社会をつくり上げることが東京にとっても、日本の将来にとっても大事だと考えております。

そういう考えから、28年度予算では、非正規雇用対策を一層加速する。それから雇用対策、就業促進をさらに推進する。それから子供の貧困対策を強化するほか、不登校、中途退学への取り組みも進めるなどして、学びや仕事に意欲のある人をしっかりと支援していきたいと思っております。

【一部抜粋】

共生社会の実現に全力で取り組み 子どもの貧困に総合的な対策を

平成28年(第1回)都議会定例会が、3月25日に閉会しました。

今定例会では、都議会民進党とともに知事も

目指すとしている「共生社会」の実現や、子どもの貧困対策について議論を行いました。

都議会民進党は、オリンピック・パラリンピック、医療・介護や高齢者の住まい、雇用就業対策などの課題について、積極的に質疑・提案を行いました。皆様には本レポートへのご意見を賜りたく、お願い申し上げます。

医療と介護の連携強化し 手厚い体制整備を

高齢者が病気を抱え、介護が必要な状態になっても、可能な限り住みなれた地域で生活できるよう、医療と介護が連携して、支えることが極めて重要です。

都議会民進党は、次期保健医療計画と高齢者保健福祉計画は、同時期の改定であり、今まで以上に医療介護提供体制を充実し、連携を強化、手厚くする必要があると提案しました。

知事は「大都市東京にふさわしい地域包括ケアシステムを構築する、2つの計画の改定に際し、現場の声を聞きながら一層の連携強化を図っていく」と答えました。28年度は、医療と介護の連携強化在宅支援52億円、地域包括

ケア412億円、認知症対策40億円の予算が実現しました。



◀今議会で代表質問をする尾崎議員



地域の声を都政に活かして!

調布市仙川町2丁目の甲州街道を渡るのに信号がなく、安全に横断する信号機が欲しいと地域の方々より切実な要望を受け、尾崎都議は迅速に対応した結果、設置を実現しました。

都内には、交通事故が起こりそうな危険な箇所がまだまだ多く存在しています。上記を踏まえ、尾崎都議は市民の皆様の声を活かし、より暮らしやすい環境づくりに全力で取り組んでまいります。

墜落事故被害者に 不安解消と支援の手を

昨年7月の調布飛行場周辺小型

飛行機墜落事故から半年が経過し、地元市では、職員が被害者を定期的に訪問し不安解消に取り組むとともに、生活再建支援資金を貸し付けるなどの支援を行っています。都議会民進党は、被害者の不安や身体的ストレスが続いていることから、都として、被害者の不安解消と支援の手を差し伸べるべきと提案しました。

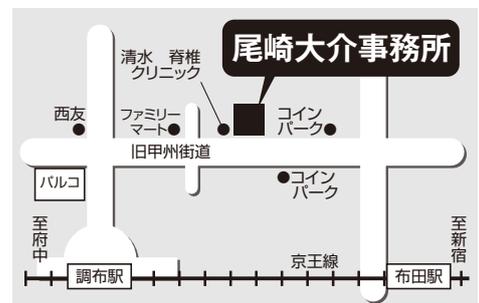
都は「今後、被害者への個別訪問を充実し、被害家屋の修繕の調整を図るなど、個々の状況に配慮し、一層丁寧に寄り添うとともに、誠意ある対応を行う」と答弁しました。



都政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

大々メール瓦版
ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp
皆様のご意見お待ちしております

尾崎大介事務所
〒182-0024 東京都調布市布田2-30-4
TEL:042-498-8030 FAX:042-498-8030
<http://www.ozakidaisuke.com>



連絡先